

事例 10 花王株式会社

～ 施策の立案・決定・実施それぞれの責任者を明確にした取組 ～

～ 研究職、営業など、職種の特徴に応じた対策を実施 ～

1 企業の概要
<ul style="list-style-type: none">○「ビューティーケア」「ヒューマンヘルスケア」「ファブリック&ホームケア」の3つの事業分野で一般消費者向けの事業を、「ケミカル」事業分野で産業界向けの事業を幅広く展開。○従業員数は、単体で約 7,300 人、連結で約 34,000 人。
2 健康確保対策の特徴
<p>(1) 取組の体制、経緯、方針</p> <ul style="list-style-type: none">○世界の人々の健康を支援する企業として、従業員の健康管理も強力に支援。○本社の人財開発部門健康開発推進部が中心となって、全社的な取組を実施。○健康実務責任者、健康実務担当者として、事業場毎に人事・総務担当者を選任。○役割の明確化。<ul style="list-style-type: none">①施策立案（健保及び健康開発推進部）②施策決定（健康づくり推進委員会（年3回、健保、会社、労組））③施策実施（健康実務責任者、産業医等）○「花王グループ健康宣言」（職場のマネージャの役割（応援する立場）も掲載）。○中期計画（KAO 健康 2020）の策定。 <p>(2) 取組の内容、目標設定、成果</p> <ul style="list-style-type: none">○活性化職場率 60%以上（新職業性簡易ストレス調査票 80 問）、BMI25%以上率、喫煙率、高ストレス者率、30 日以上長期疾病休業者率について目標設定。○健康度、健康増進活動、生産性・プレゼンティズム指標の3つを掛け合わせて評価。○研究職、営業、美容部員、生産部門等、職種の特徴に応じた対策を実施。○スマート和食、ウォーキングキャンペーン。○Q U P I O（専用Webサイト）の活用、「ホコタッチ」専用万歩計（加速度センサー内蔵）とデータ管理システムによる健康支援。○健康づくり取り組みによるポイント獲得（Q U P I Oポイント）。ポイントは日常生活に役立つものと交換可能。○花王グループ健康白書の策定（事業所、支社、男女、職種、年代別に整理）。 <p>(3) 社会的な評価</p> <ul style="list-style-type: none">○健康経営銘柄 2018・2017・2016・2015○健康経営優良法人 2018・2017○DBJ 最高ランク（特別表彰）2017・2012 <p>(4) 自社の状況（強み・弱み等）を踏まえた工夫や、取組が上手くいくポイント</p> <ul style="list-style-type: none">○トップメッセージ：経営トップメッセージとしての「花王グループ健康宣言」、中期健康経営計画「K 20」において、「社員と家族の健康維持（GENKI）プロジェクト」を実施。○データに基づく健康づくり：健康白書をはじめとし、男女別、事業場別、職種別などに集計した健康データをもとに、健康課題を見極め、対策を検討している。○優良事例に学ぶ：健康づくり担当者には、健康データの集計結果を開示、各事業場の取り組みが健康データに反映されている様子を見える化している。課題のある事業場は優良事例の事業場の担当者から取り組みを学び、自事業場の施策に役立てる。また、年に一度のアワードも実施。○楽しいイベント：定期的に全社員を対象とした健康増進イベントを実施、なるべく楽しく、参加しやすくなるよう事務局がこまめにサポート。